

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2006-25324 (P2006-25324A)
 【公開日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-004
 【出願番号】特願 2004-203152 (P2004-203152)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/274 (2006.01)

H 0 4 Q 3/58 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/274

H 0 4 Q 3/58 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 30 日 (2007.5.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 以上の外線および複数の内線を収容する構内電話交換装置と、前記内線に接続される電話装置とからなる構内電話設備における発信履歴表示方法であって、
 前記構内電話交換装置は、発信履歴記憶手段を有し、

前記外線に発信したときに該外線発信の相手先情報および該外線発信に応じた時刻情報ならびに該外線発信を行った発信電話装置情報を前記発信履歴記憶手段に順次記憶する発信履歴記憶処理と、

前記電話装置による自己の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信電話装置情報と自己電話装置情報が一致するか否かを判定する自己発信履歴判定処理と、前記自己発信履歴判定処理が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する自己発信履歴表示制御処理と、

前記電話装置による自己以外の電話装置の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信電話装置情報と自己以外の電話装置情報が一致するか否かを判定する他発信履歴判定処理と、前記他発信履歴判定処理が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する他発信履歴表示制御処理を有することを特徴とする発信履歴表示方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の発信履歴表示方法であって、

前記電話装置による全ての発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている相手先情報および時刻情報ならびに発信電話装置情報を順次表示する全発信履歴表示制御処理を有することを特徴とする発信履歴表示方法。

【請求項 3】

1 以上の外線および複数の内線を収容するボタン電話主装置と、前記内線に接続されるボタン電話機とからなるボタン電話装置において、

前記外線に発信したときに該外線発信の相手先情報および該外線発信に応じた時刻情報ならびに該外線発信を行った発信ボタン電話機情報を順次記憶する発信履歴記憶手段と、

前記ボタン電話機による自己の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信

履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己ボタン電話機情報が一致するか否かを判定する自己発信履歴判定手段と、前記自己発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する自己発信履歴表示制御手段と、

前記ボタン電話機による自己以外のボタン電話機の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己以外のボタン電話機情報が一致するか否かを判定する他発信履歴判定手段と、前記他発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する他発信履歴表示制御手段を備えたことを特徴とするボタン電話装置。

【請求項 4】

1 以上の外線および複数の内線を収容するボタン電話主装置と、前記内線に接続されるボタン電話機とからなるボタン電話装置において、

前記外線または内線に発信したときに該発信の相手先情報および該発信に応じた時刻情報ならびに該発信を行った発信ボタン電話機情報を順次記憶する発信履歴記憶手段と、前記ボタン電話機による自己の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己ボタン電話機情報が一致するか否かを判定する自己発信履歴判定手段と、前記自己発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する自己発信履歴表示制御手段と

前記ボタン電話機による自己以外のボタン電話機の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己以外のボタン電話機情報が一致するか否かを判定する他発信履歴判定手段と、前記他発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する他発信履歴表示制御手段を備えたことを特徴とするボタン電話装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 記載のボタン電話装置において、

前記ボタン電話機による全ての発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている相手先情報および時刻情報ならびに発信ボタン電話機情報を順次表示する全発信履歴表示制御手段を備えたことを特徴とするボタン電話装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明は、1 以上の外線および複数の内線を収容するボタン電話主装置と、前記内線に接続されるボタン電話機とからなるボタン電話装置において、前記外線または内線に発信したときに該発信の相手先情報および該発信に応じた時刻情報ならびに該発信を行った発信ボタン電話機情報を順次記憶する発信履歴記憶手段と、前記ボタン電話機による自己の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己ボタン電話機情報が一致するか否かを判定する自己発信履歴判定手段と、前記自己発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する自己発信履歴表示制御手段と、前記ボタン電話機による自己以外のボタン電話機の発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている発信ボタン電話機情報と自己以外のボタン電話機情報が一致するか否かを判定する他発信履歴判定手段と、前記他発信履歴判定手段が一致したと判定したときに対応する相手先情報および時刻情報を順次表示する他発信履歴表示制御手段を備えた。そして、本発明は、前記ボタン電話機による全ての発信履歴を表示する表示要求操作を検出すると前記発信履歴記憶手段に記憶されている相手先情報および時刻情報ならびに発信ボタン電話機情報を順次表示する全発信履歴表示制御手段を備えた。

